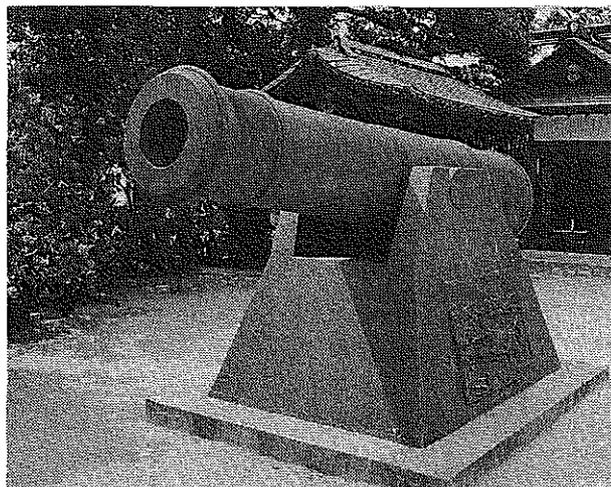




NO. 4 1993. 7



長崎技術街道の証拠物件「加農（カノン）砲」。佐嘉神社にある。(14ページ)

## も く じ

### 〈NETWORK・ネットワーク〉

2. 全国から71品目 ずらりならんだ特産品 博多にわかには大笑い!
7. 九州論が行き交う ～ヤングセミナー
9. 九州の学術研究機関のこれからのを考える - 九北学研総会
10. 「文化・科学技術の推進-住民参加のファンド形成」の印刷できる

### 〈見・聞・食〉

11. 砂の芸術コンテストへの招待状「つやざき・海のページェント」
12. 乗りごち最高のロンドンタクシー
13. 魚から見たら“人族館”
14. 近代技術の先駆けとなった佐賀藩の技術

### 〈近 況〉

15. 広域圏での地域活性化先進事例報告
17. 住宅市街地における多様な住環境整備手法の研究

### 〈本・BOOKS〉

19. まちと水辺に豊かな自然を

## 全国から71品目 ずらりならんだ特産品 博多にわかに大笑い!

### ～ 10周年記念交流会「ひとネット・よかネットパーティー」

私どもは(株)九州地域計画研究所として、従来の支店から九州土着の事務所となって10周年を迎えました。今回はそれを記念し、6月4日に当社会議室を会場としてパーティーを行いました。このパーティーは、九州に足場をおく知的インフラの一環であり、知的ネットワークの一端を占めたいと願っている私どもにとって、地域づくりに関心を持つ人々の交流の場となることを目指したものです。そのため、従来から交流していただいた方々や事務所の御協力を得て、各地の“味”をとり寄せました。北は北海道から



今日はパーティ会場、いつもは会議室

南は沖縄まで、食べ物や焼酎、酒、おもちゃまで入れると71品目となりました。また博多の名物である“にわか”の参加もあり、会場は味と笑いにあふれました。そのパーティーの様子をここで紹介させていただきます。

〈はじまりはなごやかに〉

梅雨入り宣言後の、からりと晴れた金曜日。

最初は平日の昼間ということもあり人数も少なかったのですが、時間が進むにつれ徐々に増えてきました。まず4時頃に、主催者として、当所長の糸乗があいさつ、その後九州大学名誉教授で現在中村学園大学教授の権藤與志夫先生が「アジアの中の九州」というテーマで講演されました(糸乗あいさつ、権藤先生講演の内容は別掲)。続いて、今パーティーに一



酒に焼酎、よりどりみどり

番遠くから来られた筑波研究学園都市の河本さんがあいさつされました。

「今日は本当は忙しくて、来るつもりはなかったのですが、たまたま『よかネットNo.3』(前号)を見ると、柳川の水をきれいにするという話の中に「志」という言葉と、「地域の人々が持っている記憶」ということが書かれてありました。同じ地域づくりを手掛けるものとして、コンセプトなど「思い」とか「志」とは遠い言葉ばかりを使っていた私は、その文章を見て愕然として、短刀を突きつけられた気持ちになって、これは『行きません』というわけにいかなくなりました。それで今朝は5時に起きてここまで来た

のです。」

〈博多にわか〜よかネットパーティーは8点?〉

しばらく談笑の後、会場に「博多にわか」の登場。困ったような、とほけた太い眉のにわか面をつけた五人衆による博多にわかに、会場は爆笑と拍手のうず。一部を紹介するとこんな風でした。

・「宮沢総理に福岡県からお茶ば贈ったげな」

「ほう、どげんいうて」

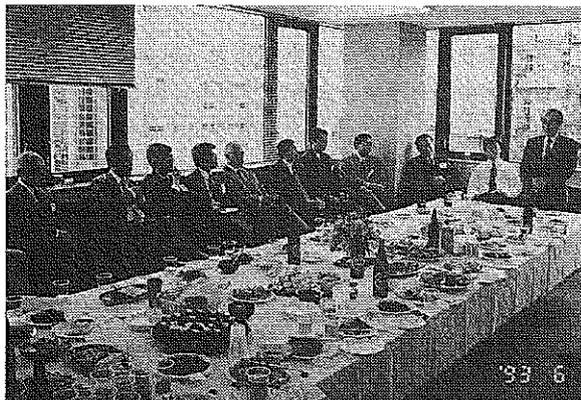
「辞めちゃ(八女茶)どうね」

・「それで宮沢さん、ぐらぐらしたけんでいうて福岡タワーにのぼったげな。そしたらやっぱ考えなつた」

#### 権藤與志夫先生講演「アジアの中の九州」

- ・日本は現在アジアの中の日本ではなく、欧米の中の日本でしかない。先日女子学生に、「日本にいる外国人は」と聞いたら、アメリカ人、中国人までは出たが、最も多い朝鮮人・韓国人は出てこなかった。これは私たちの意識が依然として欧米の中の日本であることを示している。
- ・日本の教育はこれから何をエネルギーとするのかという問いに対する私の答えは「日本はアジアにサービスをすることで生きがいを見いだす」ということである。日本人は日本の困ってる人のために働くのは生きがいだと考えるが、困っている人は周辺のアジア諸国の方が多い。
- ・私が学生の頃、大学の先生に「歴史研究の目的は何だと思いますか」と聞いたところ、「記憶と反省」という答えが返ってきた。当時は、そんなものが学問の目的なのかばかばかしいと思ったのだが、今私はその言葉がキャッチフレーズとなっている。

- ・私たちはかなり長い見通しを持って、20年、30年後くらいに意味が出てくるような仕事を、本格的に研究していかなければならない。
- ・坂本竜馬が偉大だったのは、当時の“国”である藩をこえて“日本国”というものがイメージできたから。私は100年以内に“アジア国日本県”というものができると思っている。それには日本がアジアにいろんな“もてなし”をしていくことになるだろう。
- ・今日本は教育制度の見直しをするいい時期。今の教育基本法には教育の目的として、人格形成や平和国家ということは言われているが、どこにも国際社会における役割や国際貢献ということは言われていない。それを文部省が見直すと言い出した。日本がアジアの中でどうするかという外圧がなければ本当の改革はないと思うが、日米が今本当の意味で対峙する条件が出ているので、そういう中で教育の見直しをするのはタイムリーだと思う。



講演など、落ち着いたひとときも

「なんて」

「こらつまらん、限界（玄海）が見えた」

- ・「皇太子と雅子さんはテニスが好きだそうですね。で、ペア組んで先に雅子さんが出て、くたびれてかえってきて言うたそうです」

「あんだ、交代し（皇太子）」

- ・「私どもの博多にわかは、よく10点満点と言われますが、私やそれよりもよかネットパーティーの発展（8点）の方が良からうて思います」

#### 糸乗あいさつ

現在情報社会という中であって“情”が切られている。これからはボランティアみたいなものはやるだろう。先端産業とは、ニーズが増していくこと、そこに情があるかということ。そのひとつのキーワードは“もてなし”だと思う。今日のパーティーもその練習のつもりでやらせていただいている。



（上）とぼけたお面の博多にわか  
（下）見ている方も思わず……

まちづくりにもしっかりひっかけて、

- ・「柳川もおかげで水がきれいになりまして、あそこは浄化（城下）町になります」

〈嫌みなく持ち上げる、博多の笑い文化〉

博多にわかは、古典的なネタだけでなく時事ネタも盛り込まれており、それがとてもおかしく、親しめました。オチは結局ダジャレみたいですが、若い者も年輩の方もみんなに分かって、しかも嫌みのない面白さとなっていたようです。そしてかけ言葉によって話をおとすと同時に、相手を持ち上げる話術

特産品一覧表 (食品類)

品目	産地	品目	産地
1 いかごはん	北海道・函館市	28 さいぼし	大阪・羽曳野市
2 数の子にしん薫製	北海道・札幌市	29 昆布の佃煮	大阪
3 栗落雁	長野・小布施町	30 カマンベールチー	岡山・川上村
4 栗羊羹		31 アイスクリュー	
5 みすずあめ	長野・上田町	32 ヨーグルト	
6 ふぐ卵巣の粕漬け	富山・美川町	33 洋酒ケーキ	広島・上下町
7 糠漬け		34 手作りこんにやく	広島・上下町
8 水戸納豆	東京	35 手作り薫製	福岡・志摩町
9 佃煮		36 いわしの糠味噌炊	福岡・北九州市
10 ようかん	東京・三鷹	37 がにつけ	佐賀
11 落花生	千葉	38 竹崎ガニ	佐賀・太良町
12 はまぐりの吸物	千葉・佐原市	39 あご干し	長崎
13 なんば焼き	和歌山・田辺町	40 辛子蓮根	熊本
14 ハム	愛知・足助町	41 チーズ(チーズ)	熊本・小国町
15 ウィンナー		42 鯉節の味噌漬け	鹿児島
16 ビーフジャーキー		43 かつおの薫製	鹿児島・枕崎町
17 名古屋コーチン	44 腹皮		
18 味噌漬け	45 角煮		
19 鮎寿司	滋賀・大津市	46 かつおぶしの味噌	鹿児島
20 琵琶湖の佃煮	滋賀・大津市	47 ざつまあげ	鹿児島
21 鮎巻き	滋賀・大津市	48 牛タン薫製	宮崎
22 鯖寿司(いづう)	京都	49 地鶏炭火焼き	
23 大徳寺納豆	京都・大徳寺	50 鶏もも薫製	
24 みかんゼリー	京都	51 豆腐蓋	沖縄
25 かにかみそ	兵庫・香住町	52 スクガラス	
26 いかとんび		53 にがうり(ゴヤ)	
27 黒豆の甘納豆	兵庫・篠山町		

(日本酒、焼酎他)

品目	産地
54 酒 男山	北海道・旭川市
55 酒 本丸御殿	名古屋
56 酒 鬼面酒	京都・大江町
57 健康茶	福岡・添田町
58 酒 東一	佐賀
59 酒 紅梅窓の梅	佐賀
60 酒 蜜柑ブラザー	熊本・河内町
61 酒 美少年	熊本
62 酒 古蔵(35年物)	熊本
63 焼酎 六調子	熊本・球磨郡
64 焼酎 織月	熊本・人吉市
65 焼酎 伊佐美	鹿児島
66 焼酎 アサヒ	鹿児島
67 ゴージャース	沖縄

お土産

品目	産地
68 薩摩焼き そらぎゅう	鹿児島
69 柚ジャム	大分
70 杜仲味噌	福岡・山田市
71 おもちゃ ブリキ 竹とんぼ プラスチック駒他	東京



- (左上) 鮭寿司〔滋賀県、大津市〕
- (右上) 豆腐羔、スクガラス、にがうり〔沖縄〕
- (左下) 竹崎ガニ〔佐賀県太良町〕
- (右下) 名古屋コーチン味噌漬け〔愛知県名古屋市〕

は巧妙で、そこには「オチ」という言葉以上のものがあります。この博多にこんな笑いの文化があったことに驚きさえ感じます。

#### 〈まるで物産展〉

さて、会場のテーブルを埋めた各地の特産品ですが、いわくのあるもの、珍しいもの、これはいけるとおすすめのものを、こだわりをもって集めました。特産品がずらりと並んだテーブルはなかなか壮観でした。比較的食べやすいハムやチーズ、あるいはデザート類がやはり手をつけやすかったようですが、強烈な匂いなど、クセが強すぎるもの（例えば鮭寿司）にも皆さん挑戦されたようです。お酒の方では、幻の焼酎といわれる「伊佐美」が人気でした。何かひとつ



特産品を囲んで話もはずむ

でも印象に残るものがあつたらうれしく思います。

また、来場の方には帰りの際、アンティークな抽選箱でくじを引き、プリキのおもちゃなどをおみやげとして持って帰っていただくという企画もあり、好評でした。

それぞれの顔も赤くなってきた夜8時、最後は博多一本締めでお開きとなりました。所員のみで行った手作りパーティーには大きな不手際もなく、まづまづだったのではないのでしょうか。

何かご意見ご感想などございましたら社の方までお寄せ下さい。

(伊藤 聡)

#### 「ひとネット・よかネット」1993

10周年に際し、これまでに当所員の書いたものを集大成して、さらに新たなものを加え、記念の冊子を作りました。興味のある方は御一報下さい。

## 九州論が行き交う ～ヤングセミナー～

就職シーズンたけなわの5月25日、小社による毎年恒例の「アルバックヤングセミナー」が、西鉄グランドホテル珊瑚の間で行われました。

〈工学部から商学部まで～多くの学部生が参加〉

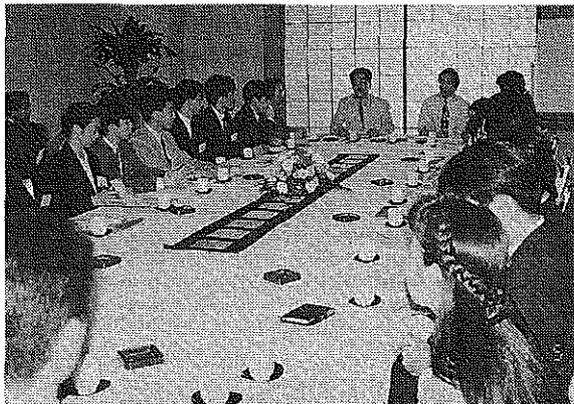
地域づくりという仕事に関心を持つ若者達を集めて行う当セミナーには、九州大学をはじめ西南学院大学、福岡大学など、男子15名、女子11名の現役の学生が参加、ほとんどが九州の出身者でした。学部も工学部から商学部、法学部まで多岐にわたっており、地域づくりに関心を持つ者の幅広さを改めて実感しました。

長テーブルを取り囲んだ26名の緊張した学生を前に、セミナーのメインプログラムである講演会が行われました。今回は九州大学法学部の今里滋先生に「私の体験的九州論」というテーマで九州について語っていただきました。

「私は行政学を教えている。行政学とは雑学である。よって私はリゾートから行政まで何でもやります」「私が小学3年生の頃、父は麻生炭鉱で働いており、炭鉱の傾斜生産方式は戦後復興の土台であった。炭鉱に行けば飯が食える。と多くの人々が集まった」「その頃、私の通った小学校は1学年が12組で、1クラス60人もいた」「まちを流れている遠賀川は、洗炭で真っ黒く汚れていたが、鯉や鮒が良く釣れる豊饒な川であった」

また九州人の気質の違いについて、

「戦場において、武道が盛んな熊本、鹿児島、都城出身者は前線で戦う人が多いが、博多人は『あぶな



会社説明会とは一味違う“ヤングセミナー”

かもん』と言い一歩下がるという」

以上の様な思いつき等を、九州の地域性と関連づけて話された後、産業や都市にテーマを移しました。  
〈周辺地域と中心的都市との関わり、その変遷について〉

「産業構造の変化がまちを変化させていく。福岡都市圏がスプロール化していく中で、久山町の人口は7,000人を維持している。それはユニークな行政により、大都市近郊での農業を守っているからである。約7割が市街化調整区域と開発抑制を行っている。そのため新幹線から見る若宮町の田園風景と隣の久山町の田園風景は、一見同じに見えるが全く違う」

「(福祉の面でも九大が町民の健康管理を行っているという、久山町のユニークな施策について) 環境の面では、新式の合併浄化槽により従来の20PPmから5PPmまで排水基準を下げる事が可能となり、浄化槽の水も飲めるくらいである」「これらのように久山町は、福岡市の必要な都市機能を管理している」  
「互いに独立性を保ちながら共存する。これが都市と周辺地域とのあり方の良い見本の一つである」

## 〈農林業のあり方について〉

「これは九州全般に言える問題点であるが、これまでに農村や山村が消滅するという現象が起こっている。現在、農林業の継続者が80戸に1戸の割合である。新卒者に関しては、15人に1人の割合でしか後を継ぐ者がいない」「農地及び森林の荒廃は、環境維持にも影響を与えるため、今後国土の保全をいかにすべきかも大きな問題である」

「稲作公園を作って農業型リゾートとして休日をリラックスして過ごすヨーロッパのやり方も見習わなければならない」

## 〈今までの九州、及び今後のあり方について〉

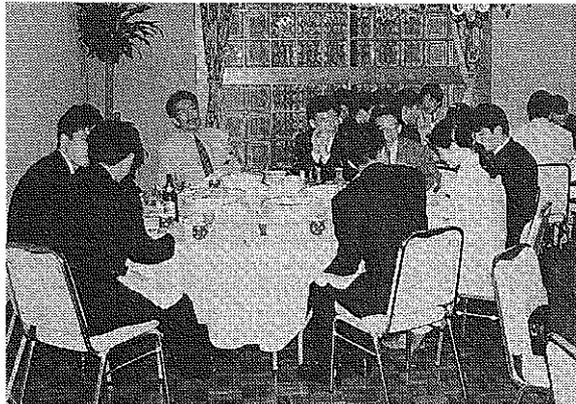
「九州において1975年から現在までに起きた3つの重要なことには、高速道路の完備、福岡空港の国際空港化（空のネットワークの完備）、福岡市における地下鉄の延伸がある」「これら福岡への一極集中により、ダム効果とストロー効果が起きている。ダム効果とは、日田や久留米方面への人材のせき止めのことで、ストロー効果とは、北九州や熊本方面からの人材の吸引のことを言う。福岡以外の都市にとって、前者は有益なものとしてとられ、後者はむしろ反発感と呼ぶものとなる」

「九州をより活性化するため、是非ともオリンピックを九州各地での『広域オリンピック』としてで開催したいと考えている」「これからは、人が1つになる。互いの風土、人情を知る。人の交流ネットワークを作ること。以上が大事である」

次に糸乗所長が「私の九州論」というテーマで講演を行いました。

## 〈不自然な時代区分と名称〉

「日本の稲作文化というのは九州に始まって、その後3~400年かかって東日本まで広まった。なのにそ



料理を囲んで、これも“セミナー”

の時代は、土器が発見された東京の弥生町からとって弥生時代と呼ばれる。時代区分は地域毎に違うものだ。土器の名前も“九州式”とか“博多式”と呼ばれるものだろうか」

## 〈日本を2度リードした九州〉

「明治維新の時も、九州では工業や技術革新で日本を先導していた。九州は農耕文明の発生と合わせ、2度の大きな歴史転換をリードした実績がある」

「しかし現在、九州は関東や関西に遅れをとっている。これから豊かになるには、研究開発やサービス業をあせらずに進展させ、地域先導型になることが必要である。」

## 〈セミナーが終わって〉

講演後、引き続いて講師を囲んでの懇親会が行われ、丸テーブル毎に3組に分かれ、食事をしながら学生達からの質問。緊張もほぐれ、様々な議論がくり広げられました。

(宮原 真一)

## 九州の学術研究機関のこれからを考える

～九州北部学術研究都市整備構想推進会議  
5年度総会 一特別講演会より一

5月28日に、九州北部学術研究都市整備構想推進会議の総会が行われ、その後特別講演会が開催されました。今回の講演は、九州北部学術研究都市構想が範としている「東北インテリジェントコスモス構想」の実現化推進の要として努力されている、石田名香雄前東北大学学長による東北インコスが現実に来た歩んできた過程についてです。以下、その講演の概要を報告します。

## 〈文質彬彬〉

孔子のことに「質文に勝てば則ち野なり。文質に勝てば則ち史なり。文質彬彬として、然る後に君子なり」がある。外形と実質が伴うことが大事ということから見れば、東北インコスの場合は、野に近いことをやってきたという反省もあり、走りながら考えてきたといえる。

## 〈東北の東北大学へ〉

四全総の多極分散型国土の形成における、昭和61年12月の中間報告の中身に対して、全国の地方から糾弾ののろしが挙がった。この時、このままでは東北が永遠に忘れ去られてしまうのではないかと危惧し、仙台を中心として産官学が集まり、翌年の1月8日に東北インテリジェントコスモス構想の旗揚げを行った。この時の東北大学の動きを地元紙では、「日本の東北大学から、初めて東北の東北大学になった」と書いてくれた。



講演中の石田先生

## 〈大学の知恵から産官へ〉

最初は東北大学の研究者を中心に全体構想を練り上げ、これを持って行政、そして経済界を回り、推進体制の拡大を行っていった。しかし、東北地方には資本が少ないため、中央の経済界の支援が不可欠と考え、その結果、経団連の会長に東北計画のトップになってもらったところから、構想の実質は出来始めた。

## 〈産官学に政を〉

その後、東北の自民党議員への協力要請によって、国土総合開発調査調整費により国のプロジェクト支援が4月に決定し、8省庁による調査が行われた。その結果は、平成元年の東北開発促進計画の中でインコス構想をマスタープランとして位置づけるようなことも記されている。この時点でセミナショナルプロジェクトと呼べるものになったと思う。

## 〈研究所づくりから学の雇用増へ〉

翌年の平成2年からは、基盤技術研究促進センター等による国の研究投資を活用して、今までに11の研究所を作り、東北の7県全部に研究所を作った。それ



総会後の懇親会での様子

それぞれの研究所が持つ研究テーマは、それぞれの地域の歴史や学術集積と深く関わりがある。これまでつながりのなかった学問同士が、この研究所づくりにおいてうまく関係し、新しい研究成果を出すということも現実には起こっている。学にとっては、雇用を増やすということにも効果が出ている。今のところ構想は非常にうまくいっていると思う。

#### 〈文化の底上げへ〉

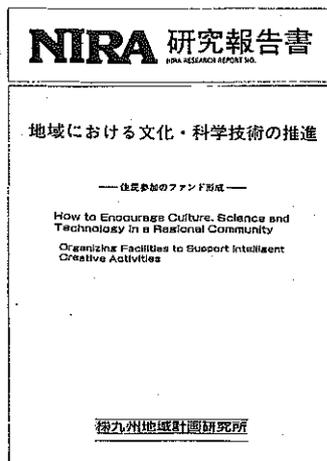
博多、九州の学術研究集積の高さは、韓国や東南アジアへ伸びる軸を考えた場合、絶対的に日本を代表する力があると思う。これまで世界世界を支配したのは、宗教であり、軍備であり、経済であり、最後に回ってくるのは文化であろう。東北コスモス構想は、地球と人間ということが第1であり、第2が人間と生活、第3が生活と産業である。第2の部分に戻ることになると文化になる。

産業効率だけではない一次元高いものに第三軸、第四軸で広げていく博多、九州付近には、形而上学的な責任があるのではないかと考えている。

(山辺真一)

## NIRA 研究報告書

「文化・科学技術の推進－住民参加のファンド形成」完成（配布のお知らせ）



よかネット第3号で紹介しました「文化・科学技術の推進－住民参加のファンド形成」（NIRA 総合研究開発機構研究報告書）を印刷いたしました。

本報告書は、今日の日本における文化・科学技術の振興に向けた多様な特色ある知的インフラ整備の必要性を踏まえ、地域の資源を基礎にしながら、知的豊かな社会を築き上げるため、地域における知的インフラづくりのあり方を研究したものです。全体は、①インフラ概念の整理、②地域での創造的で多様な研究活動、③九州の伝統、それを踏まえた、④九州で考えるべき知的インフラについての提言という構成になっています。

報告書をご希望の方は、当社までご連絡ください。なお数に限りがありますのでお早目をお願いします。

## 砂の芸術コンテストへの招待状

### 「つやざき・海のページェント」

先日、津屋崎町産業課観光係から、6月13日開催『第8回つやざき海のページェント・砂の芸術コンテスト』の招待状を頂いた。今年も参加の予定ですが、今回は去年10月の大会のことを報告します。

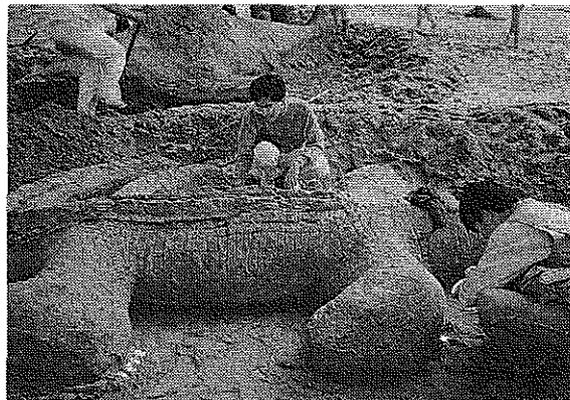
〈浜辺は大賑わい〉

私はこの大会に4年連続出場いるちょっとした古株である。前回の大会でも友人8人と押しかけて優勝を狙った。参加者は家族連れや子供会、大学生など。大半が新聞等で当大会のことを知って来た人々だ。肌寒い強風の中、手弁当で参加した遠足気分の家族。作品を見にきたカメラマン風の見物人。出場者は合わせて60組以上と、津屋崎海水浴場は大変な賑わいである。

開始時間前に大量の砂を積み終えた子供達は作戦会議中。動物図鑑片手に何か高等戦術を練る人達もいる。11時、製作開始の花火が上がり、各チームが製作を始めた。5m四方の区画で3時間以内に何か創ればよい、という気楽なルールがいい。

〈「そこにあるもの」を活かしたイベント〉

このイベントは津屋崎町の役場、各種組合、学校、マスコミ、地元の企業等で運営されている。昨年は町の行う「生涯学習フェスタ」の一環として開催された。いずれも津屋崎の美しい海辺を活かした当町のPR活動なのであるが、「あるもの」を活用した経済的にムリ・ムダがないスリムなイベントであり、こちらも気軽に行くことができる。無心に遊ぶことを最大限に認めてくれるから、参加者にとって年に一度の待望の日となる。スコップ、バケツ、参加費千



制限時間まで後1時間。砂の中で徐々に姿を現した“ワニ”

円を持てば童心に戻れる。追加で金を徴収したり、やたらに土産物を売ったりせず「ただ遊べ」という姿勢を一貫するところに好感がもてる。

〈砂の中の静かなワニ〉

開始から2時間、我々は、製作に最も時間がかからない割には立派にできるという「ワニ」を作っていた。他のチームが自らの鮫やバベルの塔や人魚が崩れていくのを悲鳴あげて修繕する中、我々の前には長々と砂浜に寝そべった巨大ワニが静かに姿を現した。若干、太り気味のワニである。賞には入れてもらえなかったが、一同大いに気を良くし、その夜ビールで乾杯したのである。

ちなみに優勝は、箱庭を造った職人さんだと覚えている。

(尾崎 正利)

### 乗り心地最高のロンドンタクシー

昨年の10月に遊びでロンドン、パリ、ローマの2週間ツアーを楽しんできました。初めてのヨーロッパ旅行でもあり、いろいろな見聞を広めることができましたが、その中でもロンドンタクシーの乗り心地と内部の合理的な作り方に非常に感激させられました。

#### 〈改めて分かる日本の「窮屈タクシー」〉

旅行前までは何にも感じなかったのですが、日本に帰ってきてタクシーに乗る度に、何故日本のタクシーは背を丸めて、窮屈な思いをして乗り降りしなくてはいけないのかと腹が立ってきます。日本に帰ってきてまもなく、タクシーの運転手に八つ当たり半分で「何で日本のタクシーはこんなに乗り降りがしにくく、乗り心地が悪いのですかね。」と尋ねると、「ああ、そうですか。」といった他人事のような返事



しか返ってこない。お客さんのニーズを無視していること甚だしいといった感じです。

#### 〈楽な乗り降り、広い荷物収納スペース〉

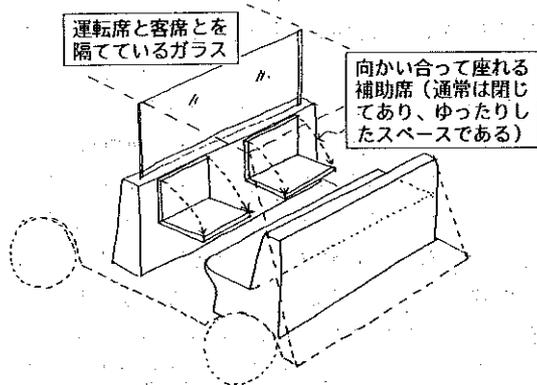
ロンドンタクシーは、オースチンの黒塗りの背の高い自動車ですが、先ず窮屈な思いをしなくてスーと乗り降りができ、特に荷物を持っている時などは非常に助かります。

また、内部は2人が座って、さらにその前に海外旅行用の大きめのバッグを置いても余裕ある広さで、座席を折たたむと車椅子も入れるスペースに作られています。

さらに前席の裏側には補助席が備えられており、荷物が無いときには4人が向かい合って、ゆっくり座ることもできるようになっています。

日本でもお客さんのニーズを考え、乗り降りが楽で、乗り心地の良いタクシーを街中に走らせるような会社が現れることを期待する次第です。

(山田 龍雄)



ロンドンタクシーの内部

## 魚から見たら“人族館”

—名護屋城跡、海中展望塔ほか—

九州は魅力的な海と山に恵まれたところです。九州北部に限っていえば、山は阿蘇・九重、英彦山、海は玄海灘、有明海など、全国にも名高い特徴ある山地や海が存在しています。中でも私が特に心惹かれるのは、玄海国定公園に含まれる呼子町、鎮西町の自然です。これまで何度も行っているところですが、つい先日も、快晴涼風の土曜日に潮の香りに導かれて行ってきました。

〈「太閤が脱みし海のかすみかな〜」—名護屋城跡〉

呼子の港から西へ4ほど行くと鎮西町に入ります。ここには太閤秀吉が朝鮮出兵のため5か月で築城させたという名護屋城があります。今では廃墟となり城跡しかありませんが、周囲には加藤清正や徳川家康など、当時の諸大名の陣跡が数多く残っています。

丘の上の本丸跡からは、海原に浮かぶ玄海の島々が見渡せ、朝鮮半島がすぐそこに感じられます。大陸の人が最初に日本に渡ってきたのは松浦だという説があるように、この辺りは太古からアジアとの交流が盛んだったのでしょうか。現在でも韓国・朝鮮と近いことを示すように、日本と韓国をつなごうという壮大な計画のもと実際に着工されているトンネルの工事現場や、ハングル語で書かれた標識があったりします。

〈魚にとっては“人族館”—玄海海中展望塔〉

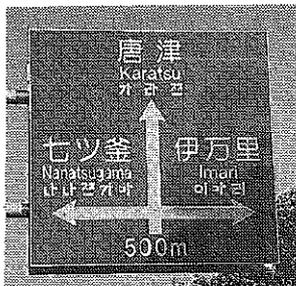
名護屋城から車で5分程行くと、日本本土の西北端、波戸岬があります。岬に近づくにつれていい匂いがしてきます。岬の屋台でサザエを焼く匂いです。私がなぜ呼子にたびたび来るかというと、このサザエ



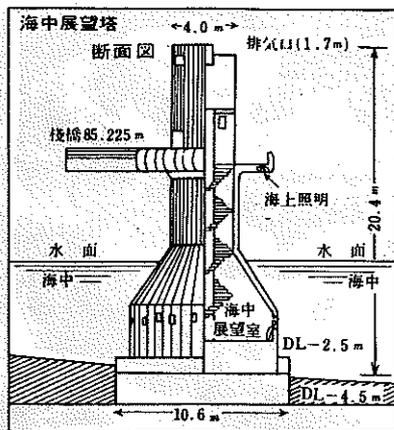
人間の方が魚に見られているよう

が食べたくなるからです。1皿500円で、大きいサザエで3個、小で4個のっています。一度食べると、条件反射で、考えるだけでよだれが出そうになります。

この波戸岬のある地域は、日本最初の海中公園地区に指定されており、ここに設置されている玄海海中展望塔からすばらしい海中景観を見ることができます。栈橋を渡って円柱の塔を20mくらい降りると展望室があり、窓から、真フグ、黒ダイなどの自然の魚を驚くほどたくさん見ることができます。



ハングル語も書かれた標識



窓に顔を近づけると上方に水面が見え、魚と一緒に波に揺られているような気分になります。

呼子はこの他にも、呼子の朝市、イカの生き造り、加部島の甘夏ジュレー（ゼリー）など、美しい景観だけでなく、美味しいものがたくさんある幸せなところです。

（歌丸 星子）

### 近代技術の先駆けとなった佐賀藩の技術

佐賀市内を廻ると、そこここに日本の近代化の先駆けとなった、新技術の証が偲ばれる。佐嘉神社にはカノン砲の他、アームストロング砲、佐賀の七賢人のレリーフなどがある。日新小学校には築地反射炉があり、煉瓦の煙突が立っている。

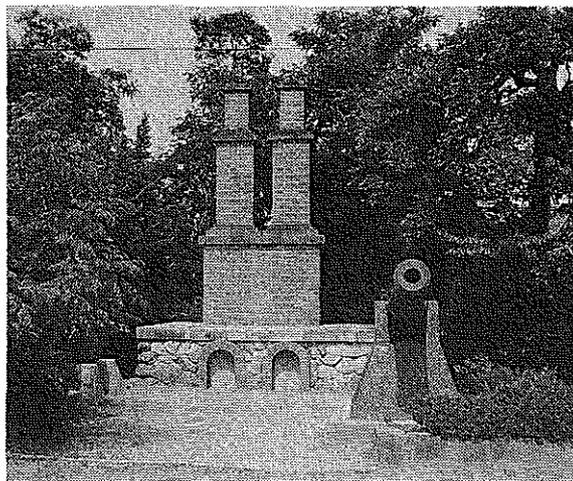
#### 〈加農（カノン）砲〉

カノン砲は佐賀藩において1851年（嘉永四年）に製造された、わが国最初の鉄製大砲である。

当時の技術先進国、オランダの技術を導入したこの大砲製造は、佐賀藩の多大な研究と努力とによってつくられた。これは同時にハイテクランド佐賀の幕開けともなる。

#### 〈佐賀藩の大砲製造所～築地反射炉跡〉

1641年（寛永18年）より長崎の警備にあたっていた佐賀藩の防衛能力は、諸外国と比較して薄弱なものであった。そこで当の10代藩主鍋島直正の命に



日新小学校にある築地反射炉跡

より、1850年、藩独自の開発で洋式反射炉をもつ築地大砲製造所を設け、長崎台場の防衛用大砲を製造した。これらの技術は幕府にも取り入れられ、新たに多布施に幕府向けの大砲製造所を設置するなど、慶応年間までに佐賀藩の製造した大砲は271門に及んだ。

（糸乗 貞喜）

## 広域圏での地域活性化先進事例報告

### 茨城県「グリーンふるさと振興機構」

「グリーンふるさと振興機構」は広域圏での地域活性化を支援する組織です。今回は水戸市の茨城県庁地方課と常陸太田市にある事務所でその事業内容等のお話を伺いました。

#### 〈地域の現況について〉

「グリーンふるさと」は、茨城県北西部地域の18市町村からなる広域圏の名称です。茨城県北西部は、八溝山系の豊かな森林、那珂川・久慈川の清流などの良好な自然、長い伝統が息づく西の内和紙や笠間焼きなど、恵まれた風土や文化を有する地域ですが、反面、水戸市やつくば市などのある県南に比べ、高齢化の進行や若年層の流出、地場産業の停滞が以前より指摘されてきた地域でもあります。

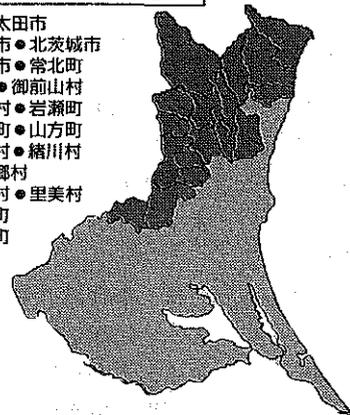
また圏域内及び周辺では、常陸那珂地区の国際港湾都市（常陸那珂港は'98年開港予定）、栃木県宇都宮テクノポリス構想など、今後地域を大きく変える可能性を持ったプロジェクトが進行、もしくは始動しています。

〈県内の格差是正、地域の健全な発展を目指して〉当機構はこの県内格差の是正、同時に首都圏内の恵まれた自然資源・景観を有効に活用した地域の活性化を進めていくことなどを目的としたもので、昭和60年、地域振興におけるソフト・ハード事業のバックアップ組織として、茨城県、圏域内各市町村を始めとする公共団体、及び民間約40社からなる第三セクター方式によって設立されたものです。

主な活動内容として、これまでに観光レクリエー

## グリーンふるさと圏

- 常陸太田市
- 高萩市 ●北茨城市
- 笠間市 ●常北町
- 桂村 ●御前山村
- 七会村 ●岩瀬町
- 大宮町 ●山方町
- 美和村 ●緒川村
- 金砂郷村
- 水府村 ●里美村
- 大子町
- 十王町



圏域図と市町村名

（機関紙「グリーンふるさと」より）

ション・地域PR、情報収集・提供、人材育成の推進、地場産業の振興、地域活性化推進を目的とした数多くの事業を行い、地元における地域振興の核的な存在となっています。しかし設立時には広域圏での振興機構という先例がないため、各市町村のとりまとめや資金集めなど設立には多くの苦労があったといえます。しかし多数の民間企業から出資を募ったことで、宣伝効果が増大したことなど、思わぬ収穫もあったようです。

#### 〈地域づくりの精神的なバックアップ〉

現在までに行った具体的な事業としては、地域の特産品の総点検、及び推奨品の選定による水戸市内の百貨店での特産物求品会（会場で客に特産品を直接味わってもらうもの）の開催、圏域紹介ビデオや写真コンテスト、ミスグリーンふるさとの選出、地域おこしリーダー育成のためのグリーンふるさとカレッジの開校などがあり、その他にも多種多様な事

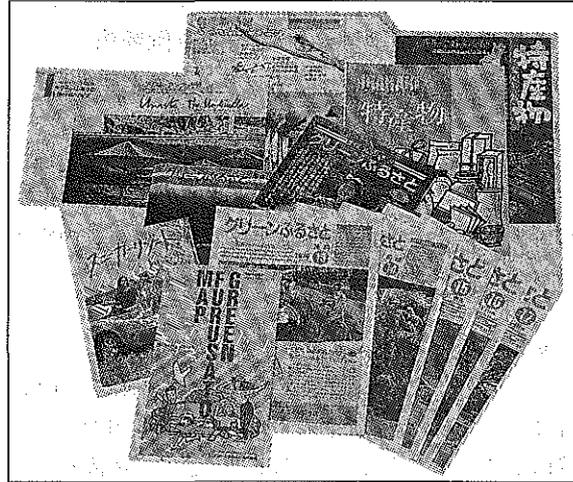
業を積極的に行っています。

これらの具体的な成果について、担当の方は「特に経済的・社会的な数字となって現れている訳ではないが、心的な意味で地元の人々の大きなバックアップとなっていると思う」と評価されていました。私は、それが地域づくりの重要な一側面だと考えており、グリーンふるさとが地元を果たしている役割はやはり大きいといえます。

#### 〈現地を回って〉

県庁でお話を伺った後、事務局の方に車で圏域の特産センターや観光地などを案内してもらいました。途中、山間の農村を走る国道からは、田植えを控えた、明るい土色に光る長閑な田園風景が広がっています。圏域が広いので、実際に回ったのはほんの一部ですが、事前に頂いた当機制作成の市町村別特徴入りの詳しい圏内地図を見ていたせいか、それらのありふれた風景が、地域独自のもののように思えたこと、さらには彼方の山を眺めていてもその奥の名勝が想像できたりなど、全体の雰囲気まで分かったような気になれたのが不思議でした。

印象的だったのは、高齢者が手工芸などの特産品をつくっている施設と、当圏域の紹介ビデオで見せていただいた里美村「クリスタンプレラ展」でした。前者は、高齢者の生きがいづくりや彼らの技術を活かした地場産品づくりのための施設で、お年寄りの方による特産品生産の現場を直に目にすることができました。また後者は、当機構と直接の関連性はなく、アメリカの芸術家クリスト氏の創作活動として行われたものですが、里美村内の河川や田畑などに、人が何人も入れるような真っ青な巨大傘を約1300本立てるといふ壮大なものです。これら巨大傘の立った景観は特異であり、是非直接見てみたいと



発行している機関誌、パンフレット等  
（「グリーンふるさと」より）

いう好奇心を抱きました。

#### 〈積極的な地域情報の発信、今後の展開〉

当機構は情報の収集、提供や発信の機能も果たしており、幾種ものパンフレットの発行や、PRビデオの作成など積極的な広報活動を行っています。地元（茨城県）で徐々に知名度が高まっているということも十分納得できます。

今後は観光ルートの開発、また外部へのPRとして筑波のCATVにグリーンふるさと圏を紹介するビデオの売り込みなどにも取り組んでいきたいとお話でした。広域的な地域おこしの可能性を開いていく先進組織として、これからも頑張りたいと思います。

（北村茂樹）

## 住宅市街地における多様な住環境整備手法の研究

### — 名古屋市視察・ヒアリング報告 —

名古屋市での視察・ヒアリングの報告を行う前に、これまでの住環境整備事業の流れについて簡単に述べたいと思います。

昭和35年に住宅地区改良法が施行されて以来、現在まで全国で約1,700地区において面的な住環境整備事業が行われてきましたが、「住環境整備30年のあゆみ（監修：建設省住宅局住環境整備室）から少し住環境整備の年代毎のあゆみについて紐解きますと、次のようなことが言われています。

- ・ 昭和40年代までの住環境整備は、住環境の劣悪な地区のスラムクリアランスを住宅地区改良事業で実施することが中心であり、全国的にみれば住環境の劣悪な地区の改良が、この事業により相当進められた。

- ・ 昭和50年代は、住宅事情の変化、住宅に対する関心の広がり等に対応して、劣悪な地区のみならず、広く一般的に住環境を整備していく必要性が認識されるようになり、住宅地区改良事業だけではなく、柔軟で一般的な新しい事業手法が求められるようになった。このような背景から、昭和53年に住環境整備モデル事業（コミュニティ住環境整備事業の前身）が創設された。

- ・ 昭和60年以降の大きな流れとしては、低水準な住環境の解消から中間的な水準の市街地における良好な住環境の形成、公共主導型から民間誘導型、クリアランス型から修復型といった広がりを見せてきた時代であり、新たな事業手法としてコミュ

ニティ住環境整備事業（以下「コミュ住」という）、地区住環境総合整備事業、街なみ整備事業などが創設された。

以上のように住環境整備のニーズの高まりとともに、多様な事業手法が展開されてきており、福岡県内でも地区改良事業や小規模炭住地区改良事業以外の事業手法を活用するような地区が増えてくるものと考えられます。

昨年度 福岡県内のK市でコミュニティ住環境整備事業、T市で土地区画整理事業（以下「区画整理」という）と小集落地区改良事業との合併施行の基本計画をお手伝いする機会があり、区画整理と住環境事業との合併施行の先進地である名古屋市の松山明氏（元：名古屋市建築局住宅部住環境整備課住環境整備係長）を建設省の椋周二氏（元：福岡県建築都市部住宅課長）より紹介していただき、合併施行の効果ついて話を聞いてきました。

### 〈名古屋市大曾根北地区における合併施行の効果について〉

これまで名古屋市では6地区においてコミュ住を実施していますが、このうち3地区が区画整理との合併施行であります。この合併施行地区の一つで、現在施行中の「大曾根北地区（約30ha）」を視察させていただきました。

当地区は名古屋市でも戦災を免れた既成市街地であり、道路は狭いものの閑静な住宅地といった印象で、福岡市内の御供所や春吉などに比べるとまだゆとりのある住宅がみられ、それ程劣悪な居住環境のところではなく、このような地区で区画整理の合意が図られたことに名古屋市民の区画整理に対する意識の違いに先ず驚かされました。

元々、住環境整備事業は借家系の対策に強いが持家系に弱く、区画整理や再開発事業などはその逆であり、互いの強いところを協力共同できることが合併施行の利点であるといわれていますが、松山氏にいわせると合併施行はまだ発展段階であり、今後さらに創意工夫して展開していく必要があることを力説されていました。

とりあえず「大曾根北地区」での効果としては次のようなことをあげられました。

- ・ 借家居住者に対してはコミュニティ住宅を用意することにより、地区に残りたい意志を持っている人を残すことが可能である。
- ・ ポケットパークや緑道などの生活に身近な施設を整備することにより、住環境のレベルアップを行うことができる。
- ・ 当地区において区画整理で整備した公園は全地面積に対して1.5%（開発基準では5%以上）しか

なく、これをコミュ住のポケットパークで補完しており、平均減歩率の緩和を助けている。

- ・ 地区内の区画道路の一部であるコミュニティ道路（歩車共存道路）の拡幅は区画整理で負担しているが、舗装などの仕上げはコミュ住で負担しており、これも全体の事業費軽減につながっている。
- ・ コミュニティ住宅用地を確保するために集合換地の手法を行い、土地の効率的な活用を図ることができる、等。

#### 〈合併施行の展開による都心部の再生〉

これまで全国で住環境整備関連事業と区画整理との合併施行を実施しているところは約140地区ありますが、全国の事例の説明を何うと公共的施設整備の一部を住環境整備事業が引き受けることによって整備水準を引き上げ、減歩率緩和にも手助けしていることが一般化しつつあるということです。

表 コミュ住と区画整理事業の合併例

コミュ住	面積	土地利用現況	合併の相手事業	特記事項（コミュ住の分担）
米 町 （釧路市）	12.7ha	低層老朽住宅	区画整理事業	コミュ住 104戸 地区内道路舗装
大曾根北 （名古屋市）	22.67ha	工場従業者住宅 基盤未整備	区画整理事業	コミュ住（賃貸、分譲） コミュニティ施設整備
御旅屋 （高岡市）	2.39ha	住宅、商店の密集	沿道型区画整理事業 （再開発事業）	コミュ住 24戸 道路取得整備 2,461㎡
浜 山 （神戸市）	24.98ha	低層住宅密集	区画整理事業 （再開発事業）	コミュ住 186戸 区画街路舗装、生活道路

富山県高岡市の「御旅屋（オヤタ）地区」の事業は沿道区画整理型街路事業とコミュ住との合併施行であります。この地区では公園、緑地以外に区画道路の用地取得までコミュ住の方で負担している唯一の例であります。

今後、合併施行の整備手法が確立され、住宅系の

密集市街地の整備の事業者負担が軽減されれば、現在人口が減少している都心部において、地区計画やその他の住宅誘導手法など、様々な事業手法の組み合わせによる「都心部の再生と魅力ある街づくり」が期待されます。

（山田 龍雄）

### 本の紹介

#### 「まちと水辺に豊かな自然を」（山海堂）

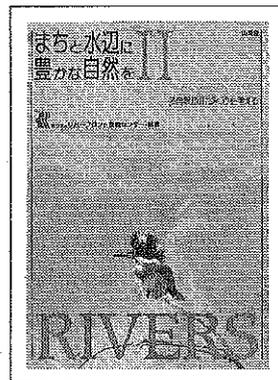
リバーフロント整備センター編集、編著

自然の改変は必要最小限にとどめ、改変する場合にも別の形で自然を復元し、或いは創出する努力をすべきである。それが人間と自然との調和ある共存を可能とするのだから。

（本文より）

本書は自然あふれる川づくり、まちづくりを目指し、国や地方自治体、及び全ての人々の啓蒙と意識の向上、地域の実情に即した整備の導入を考えていくという目的で編集されている。なお同じ表題で2冊が発行されており、それぞれに「多自然型建設工法の理念と実際」、「多自然型川づくりを考える」という副題がつけられている。

始めの一冊は主にスイスのチューリッヒ州建設省が作成した啓蒙書「Mehr Natur in Siedlung und Landschaft」の翻訳が主な内容となっている。ここでは川づくりのみならず、自然あふれるまちづくりの理念と実例が、湖畔、歩道、住宅など多岐に渡って述べられる。「石垣の隙間」、蔦などの「壁の植生」



に対する、トカゲや昆虫などの小動物の生活空間のための確保の必要性、など非常にミニマムな視点から書かれており、これらが国の建設省の開発要領となっているというスイスの自然保護に対する意識の高さに驚かされる。また「秩序より多様性」、「規格より想像力」等、理念的なものも多く含まれているが、これらも本書を難解にするものではなく、より本質に根ざした説得力のある文章にすることによって、読者の理解を高めるのに役だっている。

Ⅱにおいては、この多自然型河川工法を我国において具体的に実践していく上での必要な知見が述べられており、生物の営み、考え方、事例、課題の各章に分けられ論じられている。

ともに河川開発の具体事例に関しては、スイス、旧

西ドイツにおける事例を挙げ、直線化された河川の再活性化（うねりを加え、川幅に変化をつける）や暗渠にされた小川の掘り出し、石材や植生を利用した護岸の方法や効果等を論じている。特にⅡは、これらの多自然型河川工法を日本で実施する際の問題点、日本の河川がヨーロッパに比べ急勾配で、治水中心の事業が必要なこと、石材や植生利用のコスト

の高さ、より多くの土地を必要とする多自然型～に対する一般の理解等や、これらを含めた事業導入時の課題）にも多く言及している。

総じていえることは、2冊とも事例等の写真（カラー）が豊富で、非常に読みやすい構成となっていることである。

（北村 茂樹）

【編集後記】 三日坊主という言葉のひそみにならうと、せめて4号までは出したいと思ってスタートとした“よかネット”ですが、一応4号まで辿り着きました。今号は当社を日頃から支えていただいている方々とのネットワークパーティの特集となりました。この“よかネット”もそのネットワークの一環としてご愛顧いただきたいと思います。

名簿の整理が悪いようではネットワーク云々たる資格はないと思います。今後十分気をつけたいと思っています。そのため今回葉書を同封いたしましたので、よろしく願います。

なお転勤・転属の方も多と思います。今後よかネットは御自宅にお送りしたいと考えていますので、住所を葉書に記入の上投函して下さるようお願いいたします。

（い）

#### よかネット NO.4 1993.7

（編集・発行） ㈱九州地域計画研究所  
〒810 福岡市中央区天神1-15-1 日之出ビル6F  
TEL 092-731-7671 FAX 092-731-7673

#### （ネットワーク会社）

㈱地域計画建築研究所		
本社 京都事務所	TEL 075-221-5132	FAX 075-256-1764
大阪事務所	TEL 06-942-5732	FAX 06-941-7478
名古屋事務所	TEL 052-962-1224	FAX 052-962-1225
東京事務所	TEL 03-3226-9130	FAX 03-3226-9560
㈱服部メディカル研究所	TEL 03-3465-3147	FAX 03-3465-3146
㈱地域づくりネットワーク	TEL 06-357-2725	FAX 06-357-2740
㈱地域総合プランニング研究所	TEL 092-714-5297	FAX 092-714-5298
㈱未来プラン	TEL 092-722-0220	FAX 092-722-1391